



【導入】

1. 今日は____年____月____日で、時刻は____時____分です。
私は ○○○○さん (子ども氏名) に、____ (場所) で面接をします。

《 子ども入室 》

こんにちは。今日はお話に来てくれて、どうもありがとうございます。《 席に案内し、座ってもらおう 》
私の名前は _____ です。私の仕事は子どもからお話を聞くことです。
この会話は録画します (機材説明)。私がお話を忘れないように、後で見ればわかるようにするためです。
他の人が見ることもありますが、○○さんに迷惑がかかることはありません。
別の部屋で、私が○○さんからちゃんと聞いているか、一緒に仕事をしている人が見てくれます。
あとで、私がちゃんと聞いているか、相談に行くこともあるかもしれません。

2. 面接を始める前にお約束があります。 (*は練習課題)

① 本当：今日は、本当のことだけを話すのがとても大切です。
本当にあったことだけを話してください。

*では練習してみよう。

本当でない：「私の靴は赤い」と言ったら、これは本当ですか、本当ではありませんか。(本当は黒)
[正しく「本当でない」と言ったならば] そうですね。私の靴は黒いので本当ではありませんね。

本当：では、○○さんが今、座っているとよ言ったら、これは本当ですか、本当ではありませんか。(本当
に座っている)

[正しく「本当」と言ったならば] そうですね。○○さんは座っているのが本当ですね。

○○さんが本当のことと本当でないことの区別がよくわかっている、ということがわかりました。今日
は、本当にあったことだけを話してください。

② わからない：もしも私の質問の意味がわからなかったら、「わからない」と言ってください。

③ 知らない：もしも私の質問の答えを知らなかったら、「知らない」と言ってください。

*では練習してみよう。

「私が飼っている犬の名前は何か」と聞いたら、○○さんは何と答えますか。

[正しく「知らない」と言ったら]

そうですね。

知らないときは、今のように「知らない」と言ってください。

[「ボチ」等と言ったら]

○○さんは、私の家に来たことがないから、

私の犬の名前は知らないでしょう。

知らない時は知らないと言ってください。

④ 間違い：もしも私が間違ったことを言ったら、「間違ってるよ」と言ってください。

*では練習してみよう。

私が○○さんは2歳 (または「幼稚園」などの間違い) ですネと言ったら、○○さんは何と言いますか。

[正しく「間違ってる」「違ってる」などと言ったならば] そうですね。私が間違ったら、「間違ってる」 (「違ってる」など) と言うのがわかりましたね。私が間違ったら、今のように「間違ってる」 (「違ってる」など) と教えてください。

⑤ その場场にいない：私はその場にいなかったもので、何があったかわかりません。
どんなことでも、あったことを全部話してください。

3. ラポール：○○さんのことをもっと知りたいので聞きますね。○○さんは何をするのが好きですか。

[話してもらったならば] はい、よくわかりました。どうもありがとう。このようにたくさん話してくれるとよくわかります。今のようになんか話してください。

4. 出来事を思い出す練習：それでは前のことを思い出してお話する練習をしましょう。

今日あったことを話してください。

[話してもらったならば] はい、よくわかりました。どうもありがとう。このようにたくさん話してくれるとよくわかります。今のようになんか話してください。

【自由報告】

5. それでは、こんどは〇〇さんがどうしてここ（一時保護所や面接を行なう機関）にいるか（または来たか）話してください。／（あるいは）今日は何を話しに来ましたか。

〔出てこなければ、次のように言う〕

- ① 〇〇さんが / _____ (いつ) , / _____ (場所) で, / _____ (通告した人) に, / _____ 話をしたと聞いています。何があったか話してください。
- ② 〇〇さんの _____ (体の場所) に 傷 (または、あざ、跡、など) があります (または、あると聞きました)。その傷 (または、あざ、跡) ができたときのことを、最初から最後まで全部話してください。

【出来事の手割】

6. そういうことがあったのは1回だけですか、それとも1回よりも多いですか。

〔「他にもあった」「いつも」「たくさん」などと言ったならば〕それでは一番よく覚えているとき（または、一番最初にあったとき、一番最後にあったとき）のことを話してください。

【質問】

7. オープン質問

- ① 誘いかけ：何があったか全部話してください。
- ② 時間分割：A してから B までのことを、全部話してください。
- ③ 手がかり質問：さっき A と言っていたけれど、そのことを（について）もっと話してください。
- ④ それから質問：それから？ して？ あとは？
- ⑤ エコーイング：（子どもの言葉を繰り返すのみ）
- ⑥ 返事：うん、うん

8. ブレイク

① たくさん話してくれて、どうもありがとう。これから、私がいちばん聞いているかどうか、別の部屋で見てくれる人に確認してきます。待っててもらっていいですか。

《 面接者退室→観察室で相談→面接室に戻る 》

② 待っていてくれて、どうもありがとう。それではあといくつか質問します。

9. WH 質問（ペアリングを）

10. クローズド質問（ペアリングを）

11. 確認のための質問（会話/目撃者・他の被害者/開示/疑われている事柄に関する質問）

これらの質問は誘導・暗示となる可能性があるもので、必要な場合のみ、面接の最後の部分に行う。回答を得たならば、オープン質問に戻り、自由報告を求める

- ① その人は何か言いましたか。
- ② 他に誰かいましたか。
- ③ このことを知っている人は他に誰かいますか。／その人はどうしてこのことを知っていますか。
- ④（疑われる事柄）されたことはありませんか。／誰かが（疑われる事柄）しましたか。

【クローゼィング】

12. たくさんのことを話してくれました。助けてくれて、どうもありがとう。

- ① 知っておいたほうがよいこと：他に、私知っておいたほうがよいことは、ありますか。
- ② 話しておきたいこと：他に、〇〇さんが私に話しておきたいことは、ありますか。
- ③ 質問：〇〇さんからは、何か質問はありますか。
- ④ 連絡先：また何か話したくなったら、ここに連絡してください。

《 子ども退出 》

13. (配置図や身体図などがあれば、電源を切る前に、カメラに示す)

今は _____ 時 _____ 分です。これで面接を終わります。

[録面終了]

本手続きはLamb, M. E., Orbach, Y., Hershkowitz, I., Esplin, P. W., & Horowitz, D. (2007) A structured forensic interview protocol improves the quality and informativeness of investigative interviews with children: A review of research using the NICHD Investigative Interview Protocol. *Child Abuse and Neglect*, 31, 1201-1231.にもとづいています。プロトコル本体は <http://nichdprotocol.com/the-nichd-protocol/>、本資料（最小限の手続き）は <https://forensic-interviews.jp/>からダウンロードできます。研修で本資料を配布される際は「RISTEX：多専門連携による司法面接の実施を促進する研修プログラムのもとづく司法面接の最小限の手続き」（仲真紀子）] であることを明記してください。